

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立久保泉小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和5年4月18日(火)

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

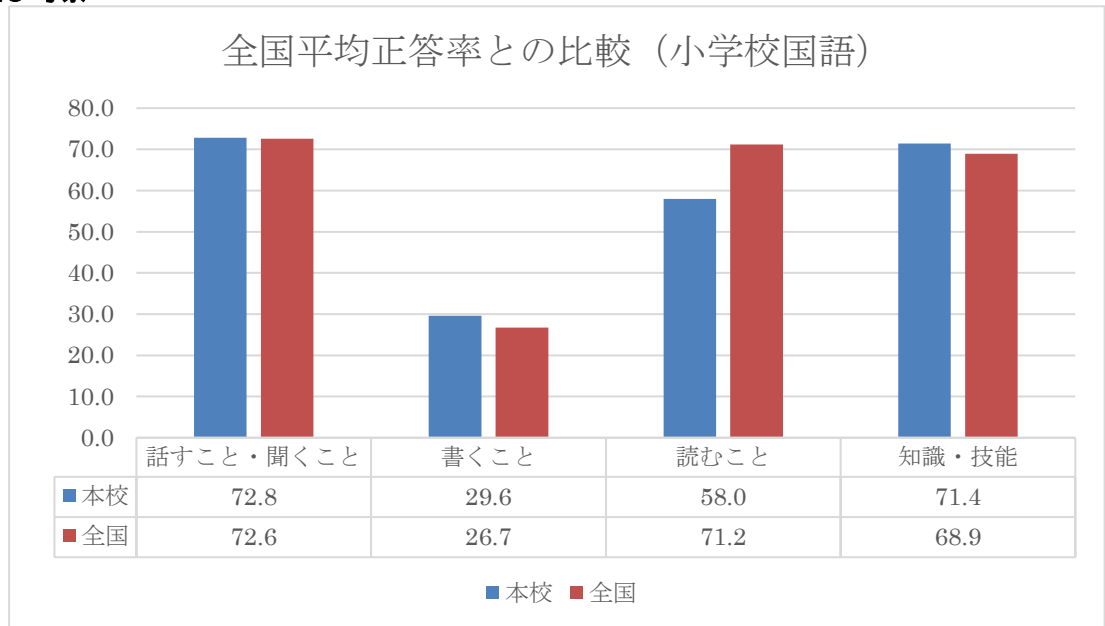
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

#### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「知識・技能」は、全国平均正答率とほぼ同じ正答率となっています。「読むこと」は全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査で、「知識・技能」が 2.5 ポイント上回りました。国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力であり、普段から、漢字や言葉の学習、音読などの成果が表れていると考えられます。課題は、「読むこと」の「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」です。複数の資料を読み取り、自分の考えを書くことを苦手としている児童もいます。自分の考えを話したり、書いたりすることは、これから社会に出ていくうえでも大切な力です。授業改善を通して、日々の授業で力を付けていきます。

#### (3) 学力向上のための取り組み

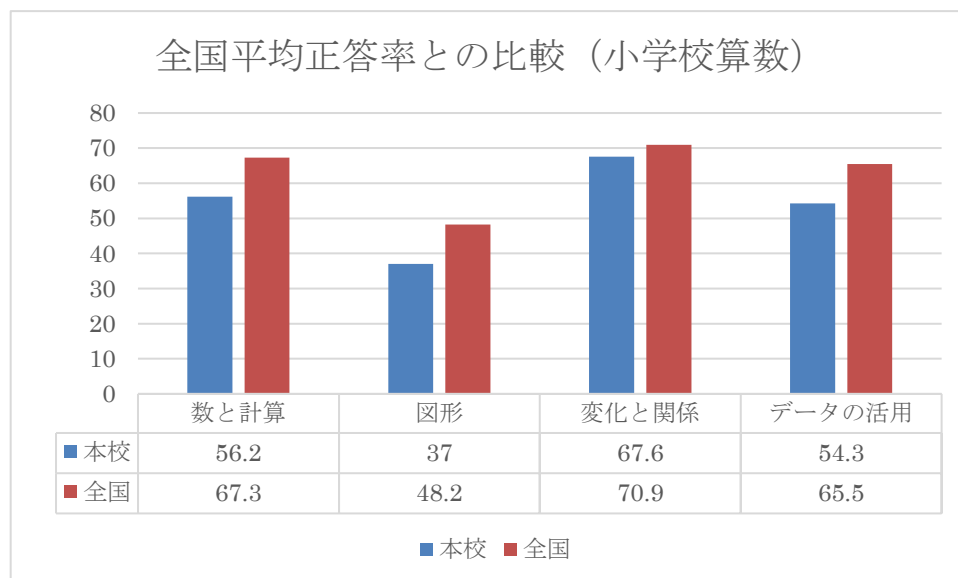
##### 【学校では】

- 朝の読書の時間を活用して、物語文や説明文といった様々なジャンルの文章に慣れ親しむ機会を充実させます。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら話す機会を増やします。
- 新しく知った言葉は辞書で調べる習慣をつけて、語彙力を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます

##### 【ご家庭では】

- 音読を大切にしていましょ。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。音読を毎日聞いてあげてください。
- お子さんと読書を楽しんでください。分からない言葉の意味や漢字は一緒に調べてあげてください。たくさんの文章や言葉に触れていくことで、語彙力の高まりが期待されます。保護者の方が本に親しむ姿を子どもたちに見せてあげてください。

## 2 算数



### (1) 結果

「変化と関係」については、全国平均よりやや下回っています。「数と計算」「図形」「データの活用」については、全国平均を下回っています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「割合」（%を問う問題）、「表の読み取り」「台形の意味と性質」についての正答率が全国平均を上回っていました。これは、公式をただ覚えさせるだけでなく、図や式を結び付けながら授業を行った成果が表れています。

しかしながら、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、理由を言葉や数を用いて記述する」「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する」といった記述式の正答率が全国平均を下回っていました。今後、問題に対する考え方をノートに書いたり、学び合いを通して考えを交流させたり、発表し合ったりすることを取り入れていきます。「なぜ、その式になったのか」を書かせたり、友達との考えとを比べたりさせながら、問題解決の過程を重視していきます。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させるようにします。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 個別のつまづきを把握し、TTや少人数授業でのきめ細かな指導をしていきます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 実際の生活場面で「買い物で割引や値上がり」「ニュースに出てくるグラフや統計データ」「お菓子を分けるとき」など身の回りで算数を意識させてください。算数科で学習したことが使えらると、実感できる体験が興味・関心を高めることにつながります。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	75.0%	83.7%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	28.6%	38.1%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	39.3%	55.1%
自分にはよいところがあると思いますか。	35.7%	42.6%
将来の夢や目標を持っていますか。	64.3%	60.8%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	71.4%	75.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	78.6%	82.6%

朝食・起床・就寝については全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

「自分にはよいところがあるか」の項目が全国平均より低い傾向にあります。学校や家庭で児童一人一人の良さを認め合えるような言葉かけをしていく必要があります。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	14.3%	28.7%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	14.3%	11.8%
「2時間以上、3時間より少ない」	17.9%	13.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	21.4%	31.5%
「30分以上、1時間より少ない」	25.0%	26.9%
「30分より少ない」	21.4%	11.4%
「全くしない」	0%	4.6%

家庭学習に取り組む時間が「全くしない」と回答している児童はいませんでした。家庭学習に取り組む時間に関しては個人差も見られます。佐賀県教育委員会が発行している「家庭学習の手引き」を基に、家庭学習の意味を児童や保護者に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字」「プリントやドリル」を出し、基礎・基本の学習内容を定着していきます。
- 学習や生活について、一人一人の児童の伸びを見逃さずに、認め励ますことで自己肯定感や向上心を高めていきます。
- 始業前(8:00~8:15)の朝の読書の推奨によって、読書の機会を増やすための工夫をしています。効果が現れてきているので、これからも継続していきます。

##### 【ご家庭では】

- 「まなざし週間」「応援メッセージ」の励ましのお言葉は、子供たちの自己肯定感を高めています。「佐賀県家庭学習の手引き」や「雄飛学園メソッド」を再確認し、学習時間のめやすや、自主学習の説明を参考に、自分で決めて学習できるように励ましてください。
- テレビやゲーム、タブレット等の家庭でのルールを話し合い、学習や生活のリズムを整えさせるように心がけてください。